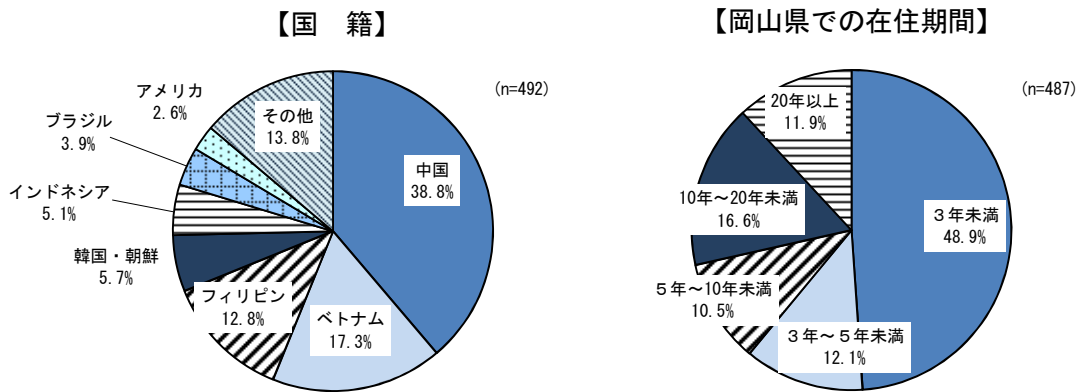


平成 29 年度 岡山県在住外国人生活状況調査結果概要

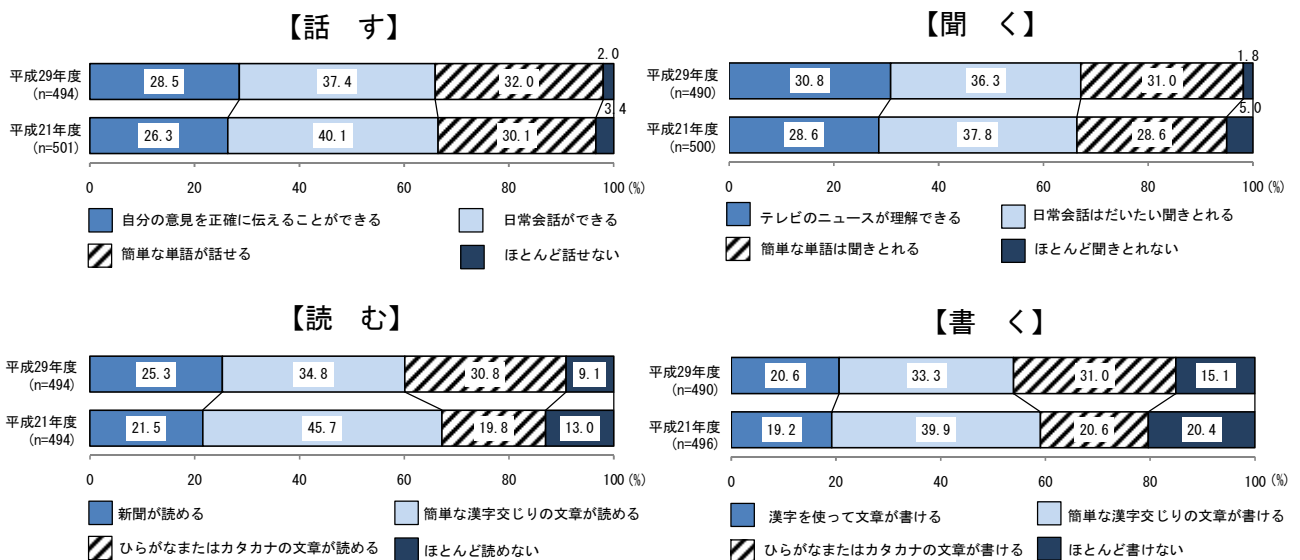
1 アンケート回答者の基本属性について

- ・性別は、男女比約 40 : 60 で、年代は、20 代・30 代が多い。
- ・国籍は、「中国」「ベトナム」「フィリピン」などのアジア地域が約 8 割を占め、平成 28(2016)年 12 月末時点の法務省在留外国人統計（以下「統計」という。）と比較すると、「韓国・朝鮮」(5.7%)の割合が低い以外はほとんど差がない。(統計:22.5%)
- ・在留資格は、「永住者」「技能実習」「日本人または永住者の配偶者など」の順に多い。
- ・岡山県での在住期間は、「3 年未満」がほぼ半数、「3～5 年未満」と合わせると 6 割を超える。
- ・居住市町村は、統計上の割合とほぼ同じで、岡山市と倉敷市を合わせると 6 割を超える。

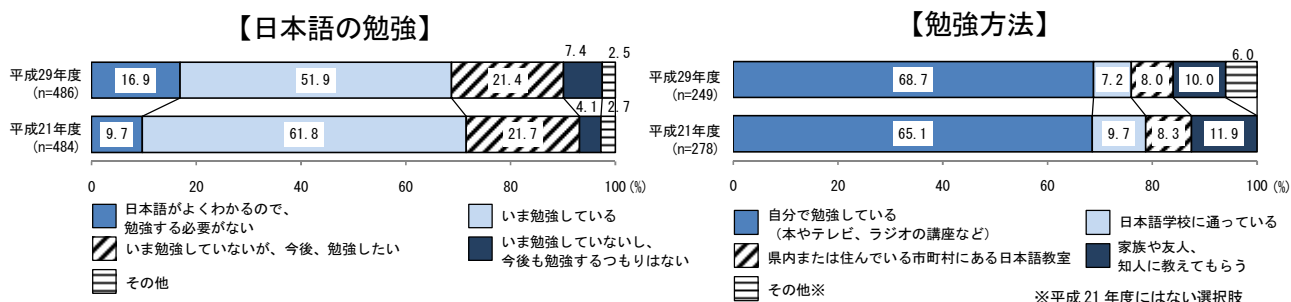


2 日本語能力について

- ・平成 21(2009)年度に実施した前回調査に比べて、「話す」「聞く」「読む」「書く」の 4 技能とも『できる』が増加し、『ほとんどできない』が減少している。また、「読む」「書く」においては、ひらがななどのやさしい日本語であれば使用できる割合が増加している。

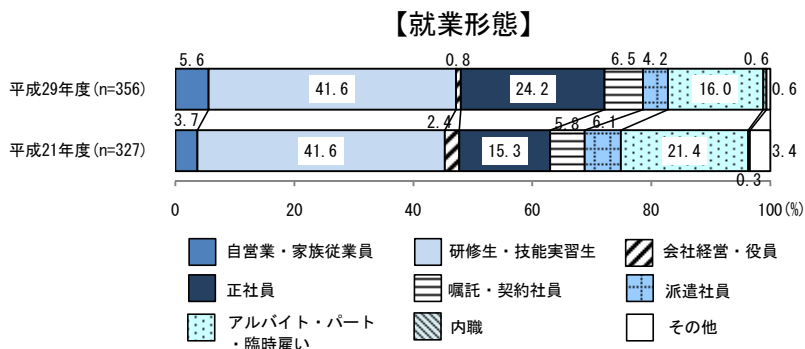


- 日本語の勉強は、「いま勉強している」と「今後勉強したい」を合わせると7割を超え、「よくわかるので勉強する必要がない」は前回調査を7.2ポイント上回っている。
- 勉強方法は、周囲の援助も含めて自力で勉強している人が8割近くに上り、日本語学校や日本語教室で勉強している人は2割未満となっている。



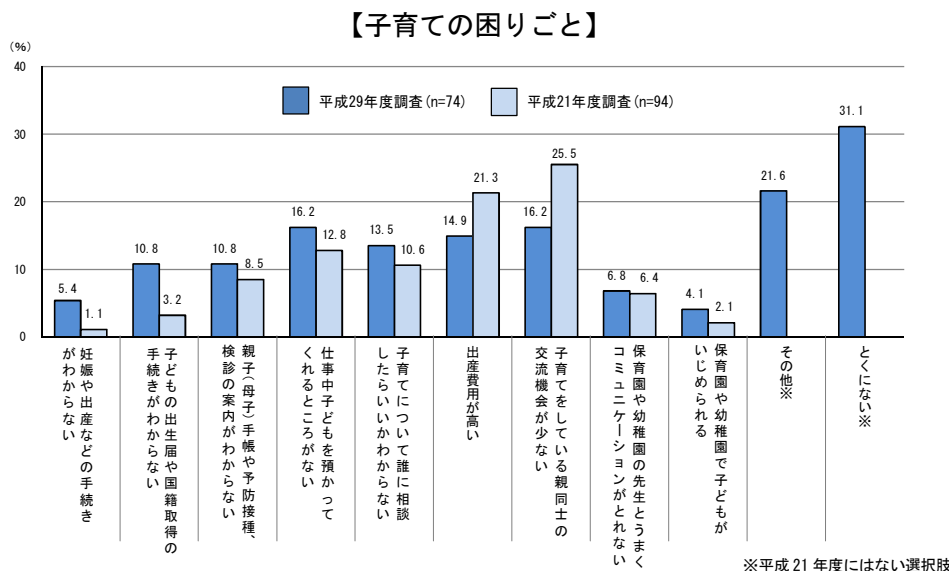
3 仕事について

- 業種は、「製造業」が最も多い。
- 就業形態は、「研修生・技能実習生」「正社員」「アルバイト・パート・臨時雇い」の順に多く、前回調査に比べて、「正社員」は8.9ポイント上回り、「アルバイト・パート・臨時雇い」は5.4ポイント下回っている。



4 子育てについて

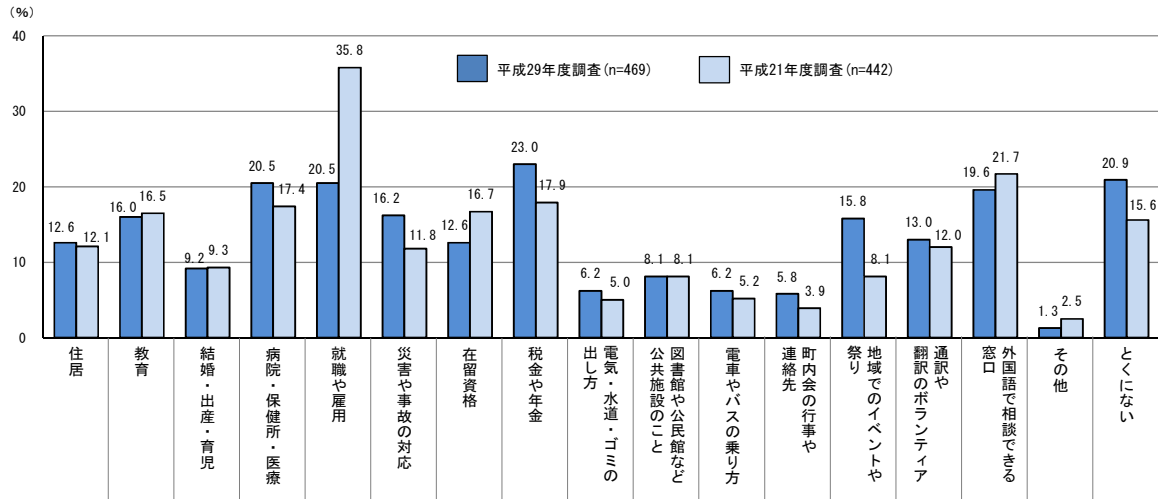
- 困りごとは、3割が「とくにない」としつつも、前回調査に比べて、「仕事で子どもを預かってくれるところがない」「子育てについて誰に相談したらいいかわからない」の比率が上がっている。



5 生活情報について

- ・ 県や市町村、支援団体から提供してほしい情報は、「税金や年金」「病院・保健所・医療」「就職や雇用」「外国語で相談できる窓口」などで、「就職や雇用」は比率が下がっている。

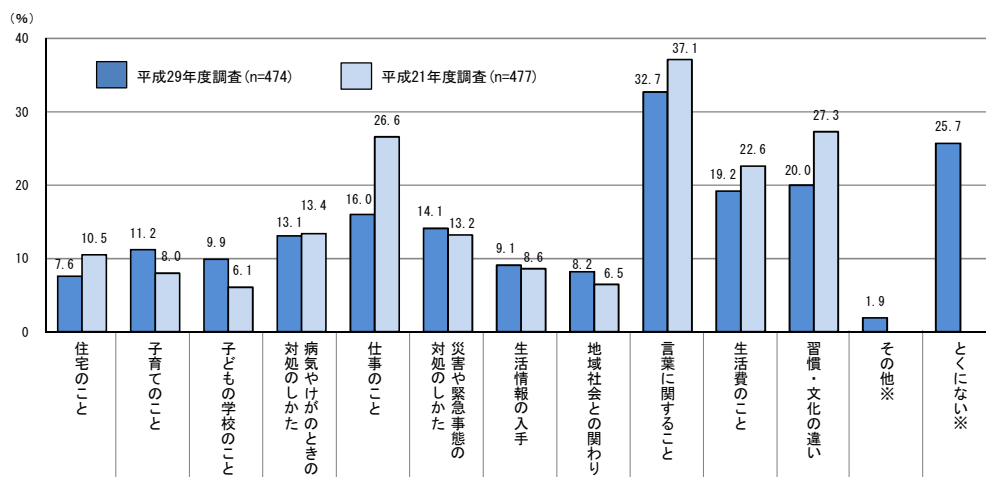
【行政等から提供してほしい情報】



6 困りごとや相談について

- ・ 普段の生活での困りごとは、「言葉に関すること」が最も多い。
- ・ トラブル経験者のうち、原因については、言葉の問題と感じている人が約3割と最も多い。

【普段の生活での困りごと】



※平成21年度にはない選択肢